

## 岡山大学まちなかキャンパス事業及び城下ステーションについて

岡山大学地域総合研究センター

### 1. まちなかキャンパス事業とは

森田学長が掲げる「美しい学都」実現のための拠点として、昨年11月、岡山大学地域総合研究センターが開所した。本センターが行う活動の一つが、行政、企業、NPO、市民等との対話を通じて、学生や教職員がまちづくりなど地域の課題を考え実践するまちなかキャンパス事業（別紙2参照）です。

これは、魅力ある岡山の創造に貢献するとともに、学生らが経験を積むことで課題解決の実践力をつけることなどを目的としています。

### 2. 城下ステーションの設置

当事業は、実際にキャンパスの外に出て、地域の方々と交流や対話をすることに重きを置いています。そのため、この度、学外の活動拠点として岡山市北区石関町に「まちなかキャンパス城下ステーション」を設置することにしました。

この場所を選定したのは、①市内中心部、②歴史・文化施設に近い、③景観が良い、④まちづくり事業を行うNPOとの連携も期待できる等の理由からです。また、まちなかキャンパス事業以外にも、ゼミやサークル活動で利用したり、留学生と地域との交流拠点としたりすることも可能です。



#### 岡山大学まちなかキャンパス城下ステーション

住所：岡山市北区石関町  
2-1  
(県立美術館向かい)

開館時間：9:00～18:00  
(土日・祝日除く)

担当：岡山大学地域総合  
研究センター  
(086-251-8491)

### 3. 学生・職員発案企画

当事業は、教員だけでなく、学生や職員が発案する企画も学内公募し、実施する予定です。(現在、公募中)